

# 会議結果報告書

令和8年2月19日

|                   |  |
|-------------------|--|
| 会議の名称             | 令和7年度 第2回いろは遊学館等運営審議会  |
| 開催日時              | 令和8年2月19日（木） 14時00分～14時35分   |
| 開催場所              | いろは遊学館 3階 第1・第2研修室   |
| 出席委員              | 石井都委員・小林コト委員・高橋貫委員・青木りえ委員・石川敦久委員・坂本定義委員・吉田和子委員・内田征男委員・長部玲子委員・前田長子委員・木村幸子委員・西川和人委員・抜井俊委員<br>(計13人)                      |
| 欠席委員              | 吉田舞唯委員・神山威仁委員 (計2人)  |
| 出席者職氏名            | (いろは遊学館) 樺嶋館長 浅見主任<br>(宗岡公民館) 佐野館長 岡野主査<br>(宗岡第二公民館) 吉田館長 (計5人)  |
| 説明員職氏名            | (いろは遊学館) 浅見主任<br>(宗岡公民館) 佐野館長<br>(宗岡第二公民館) 吉田館長 (計3人)  |
| 議題                | 1 開会<br>2 あいさつ<br>3 議事<br>令和8年度いろは遊学館、宗岡公民館及び宗岡第二公民館事業計画について<br>4 その他<br>特になし<br>5 閉会                                  |
| 結果                | 議事<br>令和8年度いろは遊学館、宗岡公民館及び宗岡第二公民館事業計画について<br>質疑応答<br><br>その他<br>特になし<br><br><span style="float: right;">(傍聴者 0人)</span> |
| 審議内容の記録（審議経過、結論等） |  |
| 1 開会              |  |
| 2 あいさつ<br>いろは遊学館長 |  |

### 3 議事

令和8年度いろは遊学館、宗岡公民館、宗岡第二公民館事業計画について  
(いろは遊学館)

いろは遊学館は、令和8年度についても「地域の人づくり」の一環として、新たな情報の発信と、市民が学んだ成果を発表・還元できる場を提供し、人と人とを結び、交流できる環境づくりを進める。

学社融合事業については、「いろはふれあい祭り」、「いのちを学ぶ人権講座」を中心に開催する。また、新規事業として屋上のビオトープを整備し、活用するため、ビオトープのボランティア養成講座も予定している。

高齢者事業は、「いろは大学」を開講する。

I C T学習支援事業は、「スマホのいろは講座」を実施する。

一般成人事業では、新規の事業として、「大人のキャンドル作り講座」を実施し、3館リレー講座の令和8年度テーマについては、3館で、検討しているところである。

健康を意識した事業としては、ピラティスの事業を予定している。

家庭教育支援事業は、「赤ちゃんファミリー」「ママサプリ」「ちいさなクリスマス会」などの事業を実施し、父親を対象とした事業についても現在検討中である。

青少年事業では、夏休み期間に「江戸風鈴作り教室」を行う予定である。また、今年度、好評だった細田学園高校の調理部の皆さんにご協力いただき、「子ども料理教室」を実施する。新規事業としては、参加者アンケートで人気のあった子どもを対象にした「お菓子教室」なども実施の予定である。サークル支援共済事業は、11団体11事業を行う予定である。令和8年度いろは遊学館事業計画については、以上。

(宗岡公民館)

つづいて、宗岡公民館の令和8年度の事業計画について、説明する。宗岡公民館では、高齢者事業・I C T学習支援事業・一般成人事業・家庭教育支援事業・青少年事業・図書関連事業・サークル支援共済事業の7事業を柱として事業を実施していく。

高齢者事業の「あけぼの大学」は、65歳以上の方を対象として、定員64人で実施する。

I C T学習支援事業は、I Tボランティアのご協力を得て、「初心者のためのパソコン個別指導」を、月2回、定員2人ずつで、1年を通して実施する予定である。

一般成人事業の「苔玉講座」は、土のたまの周りに苔を張り、季節の植物を植えるもので、今年度の6月にも実施したところ、好評だったので、令和8年度も実施する。

9月には「漢方」について学び、葛根湯を作ってみる講座を、12月は、そば打ち体験の講座を予定している。さらに、3館合同リレー講座の実施を予定している。

家庭教育支援事業は、3歳未満の子と親を対象とした「おやこ広場」を、5回の講座で、5月、6月と10月に実施する。また、12月には、親子で楽しむクリスマス会を予定している。

青少年事業ですが、「科学あそび」は、小学生を対象に、科学の実験や体験を通して、科学に興味を持ってもらえるよう実施しているもので、7月と12月に実施する予定である。また、食品サンプルを作ってみる「食品サンプル講座」を8月に、料理の楽しさを知ってもらう「楽しくクッキング」も8月に実施する予定である。

図書関連事業は、「絵本のよみきかせ」、「赤ちゃんと絵本のふれあい」は、絵本とふれあう場として、月1回程度、実施する予定である。「おやこでびよーん絵本であそぼう」は、多くの人に参加してもらえるよう、年2回、子供たちが集まるような事業があるときに合わせて、実施する予定である。「赤ちゃんと絵本のふれあい」は、市のブックスタートのフォローアップ事業として実施するもので、こちらも子供たちが集まるような事業に合わせて、実施する予定である。

よみきかせの「お楽しみ会」は、えほんのよみきかせのほか、パネルシアターや歌などで楽しみながら、絵本に親しむもので、夏、冬、春の3回、実施する予定である。

最後に、サークル支援共催事業は、「宗岡公民館フリーマーケット」を、4月に、「宗岡公民館まつり」は、11月に開催する予定で、サークルの発表や作品展示、宗岡公民館友の会のサークルによる、カーレットの体験などを実施する。

#### (宗岡第二公民館)

宗岡第二公民館の令和8年度事業計画について説明する。

令和8年度は、9の区分に分け、25事業を計画している。

高齢者事業は、寿大学の1事業で、65歳以上の方を対象に、生涯学習と仲間づくりを目的に同じメンバーで1年を通じて、教養講座、健康講座、レクリエーション講座、ものづくり講座などを行う教室事業である。今年度は、平均年齢がほぼ80歳で、受講生の中には障がいや軽度の認知症をわずらっている人、介護認定を受けられている人もいらっしやるため、安全に配慮して実施した。

ICT学習支援事業は、スマホ講座の1事業で、今年度は、総務省のデジタル活用支援推進事業の助成を受けた法人に協力いただき、老人クラブやサークルから依頼を受け、集会所や福祉センター等に出向いて講座を行う出前形式で行っている。来年度も総務省の事業が継続されるようであれば同じ方法で実施できればと考えている。

一般成人事業は、5事業を予定している。趣味講座については、趣味づくりのきっかけと、講座で学んだことをイベントで披露したり、地域に還元できる内容での講座を考えている。また、講座からサークル化につなげられるように実施できればと思っている。

自習スペース開放は、会議室の利用が入っていない時間帯を無料で利用できる学習スペースとして開放する事業で、今年度は、2月現在で約330人の登録で、毎月300人程の利用がある。年々利用や問い合わせが増えている事業である。

家庭教育支援事業は5事業実施する。

夏休み宿題大作戦は、学習支援ボランティア団体に協力いただき、夏季休暇に出た課題を自習して、分からないところを指導する内容である。また、公民館職員が講師となり、工作講座も実施する。

DIY子ども工作教室は、創造力を育むことを目的に、色んな形の木材を選びから始める自由工作である。今年度は大人気で抽選に漏れてしまった人が多かったため、来年度も計画した。小学生勉強会は、宿題教室と、親子でも参加できる科学教室に分けて実施する。

青少年事業は、中学生勉強会の1事業で、こちらも学習支援ボランティアの団体に協力いただき、中学生を対象に中間・期末試験対策と主に中学3年生を対象とした受験対策に分けて実施する。午後6時～8時で実施する夜間事業となる。

図書室関連事業は6事業である。志木市で令和8年度から12年度を期間とした「第四次志木市子ども読書活動推進計画」の策定が進んでおり、計画に位置付け、よみきかせや読書ビンゴ等の事業を計画しており、ブックフェスタは、家庭での読書活動を推進するための新規事業である。近隣の高校や大学の協力を得て、絵本の交換会やワークショップ、よみきかせなどで楽しめるイベントを計画している。

地域福祉事業は2事業で、障害者手帳を所持している方を対象に事業を行っている地域活動支援センターと共催し、障がいのある方だけでなく、ご家族やボランティア、障がいに理解がある方を対象に行う事業となる。写真講座は、車いす利用者や聴覚障がいの方も参加され、希望者は撮影後パソコンを使って写真の加工まで行う。

地域連携事業は、子ども会連携事業の1事業で、子ども会の役員の方と話し合い、保護者目線で子どもの学びを深めたい内容で講座を実施する。

館内共催事業は、3事業で、多世代交流事業は、福祉センターで活動している団体に協力いただき、カーレットや輪投げなどを一緒に楽しむ事業となり、児童センター、宗

岡子育て支援センターが開催することもマルシェと同時開催となる。

総合福祉センターまつりは、宗岡第二公民館をはじめとする総合福祉センター内の利用団体・事業所、市内の福祉関係団体で実行委員会を組織し、1年間の活動の成果を発表するまつりである。約60の団体・事業所に協力いただき、活動紹介や作品展示、ダンスなどのステージ発表、日頃の活動を知ってもらうための体験コーナー、料理サークル等による模擬店など盛りだくさんのまつりとなる。

宗岡第二公民館の説明は以上

#### 質疑応答

委員) 宗岡第二公民館は、サークル共催事業はないのか

宗岡第二公民館) 以前は陶芸窯を使用するため、陶芸窯講習会を実施していたが、陶芸窯の事故後は、陶芸窯が使用できないため、陶芸のサークルは作陶のみ宗岡第二公民館で行い、素焼き、本焼きはいろは遊学館で行っていることから陶芸窯の講習会は、実施していない。総合福祉センター利用者の会との共催事業は、来年度に新役員で協議となるため、計画には入れていないが依頼があれば実施する。

委員) いろは遊学館は、新規事業の説明があったが、宗岡公民館・宗岡第二公民館に新規事業はないのか。また、新規事業が増えることで廃止になった事業はあるか。

宗岡公民館) 一般成人事業では毎年違ったものを実施していて、それが新規事業となる。廃止となったのは、映画会である。

宗岡第二公民館) 新規事業は、ブックフェスタで、家読を推進することを目的に行う事業である。廃止したのは、未就学児の利用促進として行っていたオリジナルカレンダーをプレゼントする事業である。

委員) いろは遊学館では、遊学館まつりはないのか。

いろは遊学館) いろは遊学館のおまつりは、学社融合で開催する「いろはふれあい祭り」が遊学館のおまつりである。

#### 4 閉会